

公共ライドシェアサービス 「meemo(ミーモ)」についてのご紹介

オムロン ソーシャルソリューションズ(株)

全国自治体ライドシェア連絡協議会 プラチナ会員



オムロングループの中で、社会システム事業を担うOSS(オムロンソーシャルソリューションズ)による公共ライドシェアサービスです。自治体様の声を聞き、それぞれの地域“らしさ”を活かしたサービスを提供します。

公共ライドシェア導入に向けた調査から運用・改善まで、自治体様をまるごとサポート

STEP1 調査

- 地域に応じた「交通空白」の調査・特定
- 事業内容、実施体制の検討支援

STEP2 運用

- システム一式の提供
- 日々の運営/管理業務の支援
- 利用促進施策の実施

STEP3 改善

- 実績データ/ヒアリング結果を基に翌年度改善施策のご提案

地域に寄り添った最適なサービスの提供で、交通空白の解消を目指します

meemoが提供するサービス全体像

導入前の調査・分析などコンサルティング領域から伴走。

導入支援やその後の運用までまるごとサポートし、自治体様の交通空白解消を支援します。

自治体様の
主な役割
・実施主体

導入準備

- 予算確保・議会説明
- 関係者調整
- 広報

本格運行

公共ライドシェア運営業務

- 運行実績の管理
- ドライバーへの対価支払い
- 予算管理

利用促進に向けた各種施策の管理

- ユーザー・ドライバー周知

OSS
提供
サービス

調査・分析

- 交通ニーズ調査分析

導入支援サービス

- 公共ライドシェア認可申請支援
- 補助金申請支援
- 地域への説明会支援
- 会員募集企画・利用促進企画

運用システム

- ユーザーアプリ
- ドライバーアプリ
- 管理システム（コンタクトセンター・運行管理者向け）
- 決済システム

配車・ドライバー管理サービス

- 電話での配車受付・予約受付および配車手配
- 運行管理有資格者によるドライバー始業・終業点呼
- 会員情報受付・登録・個人情報管理の管理体制
- サービスやシステムに関するQ&A対応

運用改善支援サービス

- 運用に伴う各種分析
- 公共ライドシェア利用促進のための各種取り組みの支援
- 自治体様特有の取り組みに向けた各種支援

OSS(オムロン)は複数の自治体様と既に5年以上、地域課題から伴走しサポートを行ってまいりました。

京都府 舞鶴市



2020年～
実証実験

2022年～
本格導入

長野県 駒ヶ根市



2024年～
実証実験

自治体様のお悩み

交通空白エリア解消と地域住民の外出機会創出

時間帯交通空白の交通利便性向上

解決方法

地域住民主体型公共ライドシェアサービス

交通事業者協力型公共ライドシェアサービス

想定利用者

地元住民

地元住民・関係人口

スキーム

舞鶴市: 予算確保
高野地域協議会: 実施主体・運行管理・コンタクトセンター
オムロン: 導入支援、予約システム提供

駒ヶ根市: 予算確保
駒ヶ根市地域公共交通協議会: 実施主体
赤穂タクシー・伊南乗用: 運行管理
オムロン: 調査、導入支援、予約システム提供、日常管理
(実績、ドライバーコンタクト等)

実施エリア・時間

限定エリア(高野地区: 人口約2600人)
平日: 09:00～17:00

駒ヶ根市内全域(予定)
平日(祝日を除く月～金曜日): 午前中
週末(金曜日と土曜日): 夜間

meemoのこれから

地域ごとの課題を見据えて、様々な新サービスを随時導入予定です。

乗り合いライドシェア

ドライバー不足で存続が難しいコミュニティバスや乗り合いタクシーの代替手段、また子どもの部活や塾の移動手段としても注目いただいています。

アプリの多言語対応

海外観光客の方にも地域を自由に移動していただけるよう、多言語対応を予定。タクシーが捕まらず大変な思いをする観光客を減らし、地域経済活性化に貢献します。

タクシー優先配車型ライドシェア (タクシーとの共同運営)

まずはタクシーが優先的に配車され、必要に応じてライドシェア車両が補完する仕組みも可能に。地域交通のデジタル化をさらに促進し、より持続可能な公共交通インフラを構築します。

OSS(オムロン)は自治体様の“らしさ”を引き出し、
より最適なサービスを提供できるよう、今後も進化していきます

meemoに関するお問い合わせ

TEL

03-6718-3742

WEB

<https://meemo.jp/>

お問い合わせ
フォームはこちら▶

